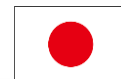




桜だより



2022年9月20日発行

コロナ以前の学校を目指して！

コロナ感染のパンデミックで、学校行事の多くが中止や延期となってきましたが、今年度はコロナ禍前のリオ日学を目指して積極的に取り組んでいるところです。3年ぶりとなる連邦大学との対面での交流会やオープンデー、文化祭の開催、また、修学旅行や宿泊学習の実施など、これまで行うことのできなかつた活動も再開しています。

今週からは、基本的感染対策も一部解除しました。マスクをしていな子どもたちの素顔を見ながら授業を行えることは新鮮で、この当たり前のことに感謝しています。今後の状況にもよりますが、平常を取り戻しつつあることを実感しているところです。

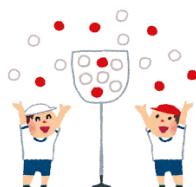
18日(日)のオープンデーでは、1校時目の通常の授業参観の他、2・3校時は特別講座として、体育(全身運動・サッカー)とワークショップ(マシュマロチャレンジ)を行いました。



ミニ運動会 フレンドタイム

6日に行われた小学部5・6年生企画のフレンドタイムは、ミニ運動会でした。紅白に分かれて玉入れや借り物競争、紅白対抗リレーなど、本物さながらの内容で、短い時間でしたが大盛り上がるの企画となりました。

子どもたちは行事を繰り返しながら、企画の仕方や運営の仕方が、少しずつ上手くなっています。子どもたちの成長を感じるこの頃です。



リオデジャネイロ連邦大学との交流会



コロナ禍のため、過去2年間はオンラインで交流を続けてきましたが、12日(月)連邦大学学生の皆さんとの交流会を、連邦大学構内で3年ぶりに開催することができました。

当日は5つのグループに分かれて、自己紹介や日学主催の交流、連邦大主催の交流など、一緒にゲームをしたり、作品作りに取り組んだり、楽しく活動することができました。大学生の日本語はとても上手で、最初緊張気味だった子どもたちも、すぐに打ち解けることができました。終わる頃には、来年の交流について話題が出るなど、子どもたちにとって、貴重な、学びの体験となったようです。通学バンに乗って帰るときも、バンが見えなくなるまで、大学生皆さんに見送っていただきとても感動しました。



<子どもたちの感想から>

- ・最初は緊張したけど、とても楽しかった。
- ・初めてクッカのお話が分かって勉強になった。
- ・Bumba meu boi を作るのが楽しかった。
- ・Adedanha や花の話など、自分の知らなかったことを知ることができた。



連邦大と日学にとって、win win の交流会となるよう次年度に繋げていきたいと思います。



Universidade Federal do Rio de Janeiro